

ノリ養殖に係る指導及び情報提供

今年度の養殖施設の配置については好適漁場を優先的に利用し、生育状況を確認しながら養殖に向けた網の展開を実施するよう指導したほか、育苗期のノリ芽健全度調査を9回、秋芽生産期の漁場巡回調査を3回、水質観測結果や留意点をまとめたのり養殖通報の発行を14回実施し養殖管理情報を提供しました。

今年度の養殖経過は以下のとおりです。

育苗安定化に向けて従来9月下旬に行っていた網の張り込みを10月上旬に移行し陸上採苗と採苗網の張り込みを開始しました。育苗中盤の10月23日には台風21号が通過し南寄りの強風が吹き荒れましたが、多くの種網を冷凍庫に避難していたため施設被害は回避できました。しかし、江戸川放水路から多量の淡水が漁場へ流れ込み25日にかけて低塩分化が続いた影響で漁場に残した網は芽の脱落や形態悪化が生じてしまいました。その後は冷凍庫に避難していた網の張り込みや使用不能網の整理を行い、11月中旬まで育苗が長期化した場所もありましたが、顕著な種網不足は回避できました。

生産に向けた網の展開は11月中旬から浮き流し漁場を中心に開始され、11月下旬に収穫が始まり12月下旬以降は支柱柵でも収穫が行われるようになりました。

今期も全県的に11～1月の生産が低迷しましたが、三番瀬では11月下旬以降、継続的に良質のノリの収穫が行われており、今後のさらなる増産が期待されます。

【参考：生産状況（2月末現在）】

地区	枚数		金額	
	千枚	同期比	千円	同期比
三番瀬	5,768	68%	92,738	87%
（市川地区）	3,588	91%	57,915	131%
（船橋地区）	2,180	53%	34,823	63%
木更津地区	8,905	66%	129,119	72%
富津地区	60,168	59%	910,224	77%
全 県	74,841	61%	1,132,082	77%
全 国	4,854,079		65,608,033	

※同期比は、いずれも平年（24～28年までの5中3）との比較とした。